

登録コード	BSB92569		開講年度	2026			
授業題目	生命工学特別実験（22BS以降）					担当教員	富岡 郁夫
英文授業名	Advanced Experiments in Biotechnology					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ						
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				専門知識に基づいて自らの思考・解決できる能力		
(2)授業の概要	生物が環境に適応し恒常性を維持するためのシグナルネットワークは、厳密にコントロールされているが、生殖器においても同様であり、その他の臓器に比べ未解明の問題が多い。専攻研究Iでは、生殖器における細胞内シグナル伝達機構について、また、動物生殖学・発生工学技術の新規知見について、実際の実験を通して、研究の進め方（問題設定・解決法）や論文作成法などを身につける。						
(3)授業計画	1. 研究テーマに関連した論文および他分野の研究領域に関する論文を幅広く読解し、実験計画の立案に役立てる 2. 実施した実験結果について研究室メンバーと議論を行い、研究を進める 3. 研究の成果を論理的な文章で表現する方法を学ぶ（卒業論文および科学論文作成の準備）						
(4)成績評価の方法	研究テーマに関連した専門分野の論文や専門書を積極的に読み、教員を含む研究室メンバーと内容の議論を自主的に行う。						
(5)成績評価の基準	専攻研究に対する積極性、研究の進捗状況の報告、論文紹介の仕方などを評価し、単位を認定する。						
	評価基準：	評語	略記号	点数			
		秀	S	90-100			
		優	A	80-89			
		良	B	70-79			
		可	C	60-69			
		不可	D	0-59			
(6)事前事後学習の内容	事前学習として専門論文の読解を求める。						
(7)履修上の注意	実施した実験内容および結果を科学論文の形式で作成したレポートを定期的に提出し、添削を受ける。						
(8)質問、相談への対応	研究に対する積極性と意義付けが出来るかどうかで評価する。						
(9)その他	担当教員が随時受け付ける。						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						